

平成23年度技術士第二次試験問題〔水産部門〕

選択科目【14-3】水産土木

1時30分～5時

I 次の2問題（I-1，I-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

I-1 水産資源の回復・増大と豊かな生態系の維持・回復を図るため、水産環境整備の観点から今後の漁港・漁場・漁村整備において取り組むべき方策を複数述べよ。その方策を進めるに当たり、あなたが最も重要と考える課題を1つ選び、今後の対応策について考えを詳述せよ。（問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

I-2 次の5設問のうち3設問を選んで解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

I-2-1 漁港において、水域の静穏度を検討する際の基本的考え方と検討手法、技術的留意点について述べよ。

I-2-2 漁港の静穏度を確保することにより、泊地等の水質悪化を招く場合がある。その際の対策と効果、技術的留意点を述べよ。

I-2-3 増殖場造成で用いられる湧昇流発生工について、その整備手法と効果、技術的留意点を述べよ。

I-2-4 人工魚礁について、その設置水深に応じた整備手法を列挙し、それぞれに関して効果と特徴を述べよ。

I-2-5 水産土木分野における事業のコストと品質の両面を重視する取組について、ここに至る背景と目的、特徴を述べよ。